

ホームページを作ろう

それでは実際に、Jimdoでホームページを作成しましょう。Jimdoに登録が完了すると、その時点でホームページの作成も完了します。

1 Jimdoでホームページを作成しよう

サブドメインが決まったら、Jimdoでホームページを作るための登録をします。



1 Jimdoのサイトを開く

ブラウザを起動し、アドレスバーに半角文字で「https://jp.jimdo.com」と入力して **Enter** を押します。Jimdoのサービスページが開いたら、[無料ホームページを作成] をクリックします。

MEMO

本書ではブラウザは Google Chrome を使用しています。



2 アカウントを作成する

「アカウントを作成」の入力欄に自分のメールアドレスと希望するパスワードを入力します。利用規約の確認後、「Jimdoの利用規約に同意します」にチェックを入れ、[アカウントを作成] をクリックします。

MEMO

メールアドレス・パスワードとも、半角文字で入力します。パスワードは、半角アルファベットと数字を組み合わせた6文字以上がおすすめです。また、忘れないようにメモをしておくようにしましょう。



3 メールアドレスを確認する

登録したメールアドレスに Jimdo から図のようなメールが届きます。手順 2 で入力したときと同じパソコンで、[確定する] をクリックします。

MEMO

メールアドレスを確定すると、アカウント作成が完了して Jimdo ユーザー登録されます。今後はこのアカウントを使ってホームページを作成することになります。



4 ホームページの種類を選択する

これから作成するホームページの種類を選択します。本書ではカフェのページを作成していくので、[ホームページをはじめます] をクリックします。

MEMO

どれを選んででもできることは同じです。「ホームページ」を選んでも、ネットショップやブログの機能が無料で利用できます。



5 サービスを選択する

Jimdo が提供している 2 つのサービスのうち、1 つを選択します。本書では「ジンドウクリエイター」を利用して作成するので、ジンドウクリエイターの [作成をはじめます] をクリックします。

MEMO

「ジンドウ AI ビルダー」でもホームページを作成できますが、作成のしくみが異なります。本書では操作方法の解説は行いません（両サービスの違いについては P.23 参照）。



6 ホームページの内容を選択する

これから作成するホームページの内容に近いものを1つ選択して、「次へ」をクリックします。本書では「バー・レストラン」を選択します。

MEMO

何も選択せずに次の画面に行くこともできます。選択しない場合は、「このページはスキップできます」をクリックします。選択の有無に関わらず、利用できる機能などは同じです。

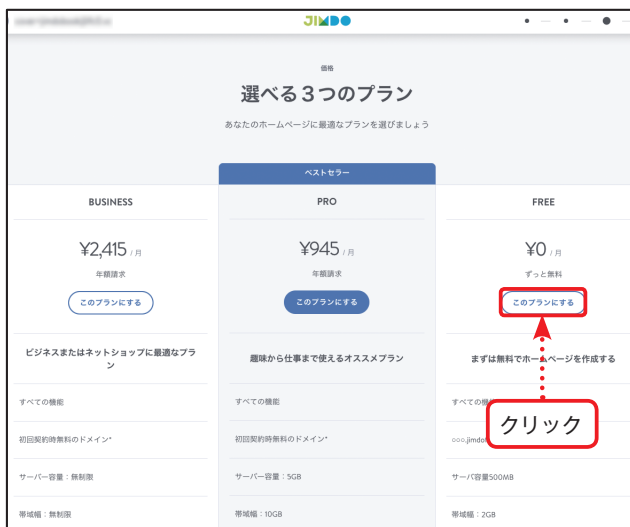


7 レイアウトを選択する

手順6で選択した内容に合ったデザインレイアウトの一覧が表示されます。本書のサンプルサイトでは「Tokyo」というレイアウトを使いますので、左上の図をクリックします。

MEMO

デザインレイアウトはホームページ登録後でも、あとから自由に変更できます (P.102 参照)。



8 プランを選択する

3つのプランの中から1つを選択します。本書では無料版で作成しますので、「FREE」の「このプランにする」をクリックします。

MEMO

プランについての詳細はP.22を参考にしてください。



9 サブドメインを設定する

P24～25を参考にサブドメインを決めて入力し、「使用可能か確認する」をクリックします。

MEMO

スペルミスがないように十分に気を付けて入力しましょう。すでに使われている場合は「既に使用されています」の表示が出ます。サブドメインを考え直しましょう。



10 ホームページを作成する

登録可能なサブドメインの場合、ボタンが「無料ホームページを作成する」に変わるので、クリックします。



11 新しいホームページができた

「準備中」表示のあと、選択したレイアウトでホームページが作成されます。このホームページに対して以降の作業を行っていきます。

MEMO

インターネット回線の状況によっては、「準備中」画面が長く表示される場合があります。



TIPS

Jimdo のアカウントについて

Jimdoでは最初にメールアドレスとパスワードを登録してユーザー登録をします。これを「アカウント作成」といいます。Jimdoでは、1つのアカウントで複数のホームページの作成や管理ができます。ホームページの切り替えは「ダッシュボード」画面で行います。詳細はP.170で解説しています。